



道徳通信

No. 11

平成28年4月26日発行
道徳教育推進委員会

「ホスピタリティ」とは何か？ —校外学習に向けて—

1年生の各クラスで、東京ディズニーランド（TDL）で行われる校外学習に向け、事前学習等を行いました。

今回の校外学習は、クラスの生徒同士の親睦を深めることに加えて、東京ディズニーリゾート（TDR）で実践されている取組の一端を体感し、進路指導の一助とする新たな位置付けがなされています。

各クラスでは、当日の班分け、役割分担の後、事前学習のプリント等に取り組みました。

東京オリンピック誘致の際に、「おもてなしの心」が注目を浴びたところですが、実際に何が一番必要なのかという点に意識が行かずに言葉が独り歩きしてしまっているようにも思われます。

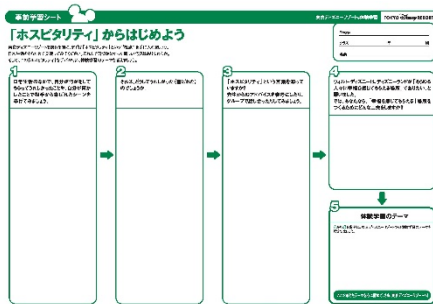
TDLでは、キャストの皆さんが、日々の業務の中で、随所に「ホスピタリティ」あふれる対応をしています。

その一端を感じ取ることで、生徒の人間的な成長にもつなげていければと考えているところです。

裏面に、TDRでの「ホスピタリティ」に関するエッセイを掲載しました。

何かの場面で活用していただければ幸いです。

（当日使用のワークシート）



「明日への扉Ⅱ」について

千葉県教育委員会作成の道徳読み物教材集「明日への扉Ⅱ」の、第1学年各クラスでの活用に向けての準備が整いました。職員室ガラスボード脇に、クラスごとに箱に入れて仕訳してあります。

この教材は平成26年度末に県内の公立高等学校各校に配付されたものです。21の題材で構成されています。

1年生の各クラス担任におかれましては、LHRを活用した道徳授業の実施の準備をお願いします。



※ サーバーに、指導例等の電子データがアップロードされています。適宜、御活用ください。

※収録されている題材

「スポーツのカ・佐藤真海」
「自分」に挑む
「魔法使いの少年」など

※興味のある先生方には、教員用もごさいます。適宜貸し出しをいたします。その際には貸出簿への記入をお願いします。

（文責 崎山）

人と人とのコミュニケーション

福島 祥郎

「こんにちは!」

東京ディズニーリゾートでは、全てのキャスト(従業員)が「いらっしゃいませ」ではなくこう挨拶する。「いらっしゃいませ」と言うとゲスト(お客様)は言葉を返さないが、「こんにちは」と話しかければゲストは「こんにちは」と返してくれ、会話のきっかけとなるのだ。この一対一のコミュニケーションは、東京ディズニーリゾートのおもてなしの基本であり、コミュニケーションこそがゲストとキャスト双方にとって究極の喜びを生むのである。

また、キャスト教育においても膨大なマニュアルなどはなく、「安全」や「礼儀正しさ」といったシンプルな行動指針が存在するだけである。キャストは、その指針を実践するコツを学んだ後、ゲストに「幸福感」を感じていただくため、各人が誠心誠意、対応について工夫する。「自ら課題を見つけ、考え、判断し、解決していく」という教育現場と同じ指針がキャストにも示されているのである。

このようなキャスト育成の秘訣を知りたいという要望を受け、四年前から有料セミナー「ディズニーアカデミー」を開講している。ここではディズニーテーマパークを支える「ホスピタリティ」(おもてなし)という考え方を紹介している。大人向けには「人」に焦点を合わせ、人の重要性や人材育成の環境づくりについて紹介し、中・高校生向けには「相手の立場に立ち、自ら行動すること」の大切さを伝えている。

一方、東京ディズニーリゾートにおける学びの視点を紹介するため、昨年「魔法の教室」という無料の出前授業プログラムを開始した。一都三県(東京、千葉、埼玉、神奈川)の小学校を訪問し、東京ディズニーリゾートのキャストが日々実践している「掃除」や「思いやり」といったことを、体験やゲームを通じて感じ取ってもらっている。キャストは、挨拶や整理整頓といった基本的なことを当たり前のように行っている。出前授業においても、普段先生方が児童・生徒に教えている、基本的なことを改めて伝えているに過ぎないのだ。

『掃除も思いやりも笑顔が大切なポイントである』というメッセージを通じ、子どもたちに夢を感じてもらえたら嬉しい限りである。

(千葉教育 平成21年6月号 「提言」より)

先進校の実践から学ぶ (その1) 市川工業高等学校

先日行われた、道徳教育推進教師対象の研修会において、平成26年度研究指定校であった、市川工業高等学校の研究実践報告書が配付されました。

本校同様、工業高校として実践に取り組んだ市川工業の報告書は示唆に富むものでした。

特に、全体計画中の重点目標の中に、工業高校ならではの目標が、明示されていま

す。

該当部分を以下に引用しますが、本校でも同様の視点での取組が実践できるものと考えられます。

道徳教育の重点目標

③ものづくりをとおして、勤労の意義や尊さを理解し、公共の福祉と社会の発展に寄与することができる生徒を育成する。

市川工業高等学校では、道徳教育のメインテーマを「技術者倫理」とし、授業を展開しています。

これは、これからの社会及び企業が求める質の高いものづくりには、より革新的な技術力に併せて、時代に即した倫理観の醸成が不可欠であるという理念に基づくものです。

報告書を御覧になりたい方は担当までお問い合わせください。(文責 岐山)



※次回は八街高等学校を取り上げる予定です。